

**製品名: CD133 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab03356**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 97 kDa; Observed MW: 110 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PROM1
別名	Prominin-1; Antigen AC133; Prominin-like protein 1; CD133.
遺伝子 ID	8842
SwissProt ID	O43490
免疫原	抗血清はヒト PROM1 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

**背景**

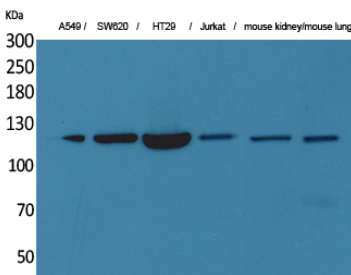
この遺伝子は、五回膜貫通型糖タンパク質をコードしています。このタンパク質は膜突起に局在し、成体幹細胞でしばしば発現して

おり、分化を抑制することで幹細胞の特性を維持する機能を持つと考えられています。この遺伝子の変異は、網膜色素変性症およびシュタルガルト病を引き起こすことが示されています。また、この遺伝子の発現はいくつかの種類の癌とも関連しています。この遺伝子は、組織依存的に発現する少なくとも5つの代替プロモーターから発現します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



CD133 抗体を使用した、A549、SW620、HT-29、Jurkat、マウス腎臓、マウス肺の溶解物中の CD133 のウエスタンブロット分析。